

運営推進会議（報告事項）

令和 6 年 8 月 20 日 開催

【利用状況： 令和 6 年 7 月 31 日 現在】

看護小規模多機能型居宅介護登録者数 19 名 平均年齢 83.7 歳

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	平均介護度
1	2	1	8	7	0	3.80

新規利用開始	6	月	3	名	緩和ケア、ターミナルケア、看取り、
	7	月	3	名	緩和ケア、ターミナルケア、看取り
利用終了	6	月	3	名	ご逝去
	7	月	5	名	ご逝去

通いサービス			訪問サービス			泊りサービス		
利用者実数	19 / 19	名	看護	14 / 19	名	利用者実数	11	名
						平均宿泊者人数 (前2か月集計)	6	名/日
1日平均 利用者数 (前2か月集計)	11	名/日	介護	10 / 19	名	延べ宿泊数 (前2か月集計)	345	名
						長期宿泊者数	1	名

【交流・行事の実施状況】

- お誕生日のお祝い
- レクリエーション：アロマサロン、かき氷パーティー、脳トレ
- 上中2区夏祭り テントなど設営参加（男性介護職員2名）、近隣店舗へお買い物ツアー

【事故・苦情の状況】

●インシデント・アクシデント 14 件

・転倒転落：4件 ・伝達ミス：1件 ・点滴自己抜針：1件 ・皮膚損傷：1件（レベルⅢ） ・留置物抜去：2件（レベルⅢ 2件） ・服薬関連：5件
（内容と対応）

① 膀胱留置カテーテルを挿入中の利用者様。自ら抜いた可能性が高くすでに抜けていた状態で発見。（対応）主治医に報告し間欠的な導尿処置となった。

② 胃管チューブが挿入されている利用者。入浴介助中に固定テープが外れ、チューブがほぼ抜けてしまった。（対応）主治医へ報告し外来受診後再留置となった。

③ 体位交換時、利用者の約3cm大前腕皮膚が損傷した。（対応）創部の処置を行い経過観察、皮膚の脆弱性が高いため保湿ケア、体位交換時は摩擦が生じないように周知。

●介助中の職員事故 1 件

末期がん、全身性に浮腫があり日常生活動作は介助が必要な利用者。転倒転落時の衝撃緩衝のため、ベッドマットレスを床に設置していた。本人の希望で、マットレスに臥床されていた状態だった。

夜間、呼吸苦を訴えた為端坐位となれるよう、看護職員が移動介助を行う際、マットレスに足を取られ、右膝をねじる姿勢で利用者を支えた。介助した職員は、当時痛みの自覚はなかったが、時間経過とともに痛みが増したため整形外科を受診。右膝半月板損傷と診断を受け、鎮痛剤の内服と通院治療が必要となった。労働者災害補償保険の適応として対応した。受傷後当事者職員は、業務については右膝に荷重をかけないことで、通常業務は可能である。

◇苦情 0 件

【情報共有・その他】

- ・町内会活動について、引き続き地域の事業所として参加していく方向である。
- ・ラシュールメゾンやすらぎ入居者へ近隣の町内会の催しに参加できるよう、情報提供を行い希望に添えるよう対応していく。
- ・7月前半から半ばまで新型コロナウイルスが流行した。職員6名、利用者2名発症し、標準予防策を実施。当事業所利用者へ面会制限を行っている。現在発症者は0人。引き続き職員、利用者の体調管理に努める。

【運営推進委員からの意見・助言、評価など】

- ・最近やすらぎの皆さんが、地域行事に積極的に参加しているので、10月に上中地区で秋祭りがある。上中3区は町内会の会員数も減り、神輿の担ぎ手がおらず毎年苦慮している。可能な限りでよいので、3～4名程度ご協力していただくと助かる。
→当法人の職員への呼びかけを行い参加いたします。
- ・広島市の方から、小学校区の地域活動の一環として、自治会、NPO、子供会、近隣施設など協力し祭りなどを計画し実施した場合、助成金がでるようになった。現在計画の段階ではあるが、構成員として参加してほしい。
→ぜひとも賛同させてください。
- ・先日、安佐北区民文化センターの図書館を利用中に、突然人が倒れた。熱中症なのか不明だが、口から泡を吹きけいれんを起こしているようだった。横に向けた方がよいという知識はあったので対応したが難しかった。救急車を呼んだがこの暑さで近くに消防署があるものの、救急車が出払っており到着に10分はかかると。今回到着までに時間がかかることもある事を知った。日常生活で突然遭遇した時は、救急車が到着までどのような対応方法をとればよいか不安であった。何かしら教えてもらえると対応できるかと感じた。
→驚かれたことでしょう。暑いため体調不良を起こす方に遭遇することもあります。対応されたことは素晴らしいです。場面に遭遇した際、まずは呼吸や脈があるか意識状態を確認します。今回のように口から泡を吹いている場合は、気道確保のため顔を横に向けたのは正解です。けいれんを起こしていた状態であるならば、筋緊張もあつたと想定されるので横に向けられないことでもあります。口腔内に貯留物があれば顔だけでも向けることで、口角排出させることもできます。嘔吐には難しいことありますが日常生活から何かしら対応方法を知ることとても大切です。衣服の締め付けもあれば、ベルトを緩めたり上着のボタンをはずすことも状況により効果的です。今回のように疑問点などいつでも聞いてください。
- ・にのみやグループ広報誌smile（夏季の号）を会議資料とともに配布。
心臓リハビリについて特集している。病気について気をつける方法を知っていると、身近な人にも助言ができる。広報誌を町内会の回覧板で回したい。6部くらい希望。
→町内会の皆様への情報発信に是非ご活用してください。6部お渡しした。

【長期連泊の承認について】

- ・施設入所が決定するまでは、連泊を承認する。

運営推進会議 出席者	利用者家族代表者 1名、地域住民代表者 2名（上中3区町内会長、民生委員） 地域包括支援センター1名（介護支援専門員）、知見を有する方1名この度都合により欠席（グループホームなごみの郷管理者）
---------------	---

次回の運営推進会議 令和 6 年 10 月 8 日（火） 10:00 ~ 11:00